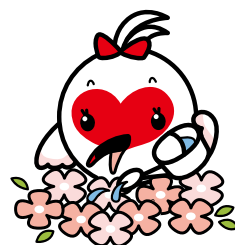


# 11 新潟の花づくりは どうなっているの？



新潟県の花は、主に下越地域で球根や花木の生産が盛んです。また、切り花は県内全体で広く生産されています。

種類では、県の花であるチューリップの切り花、球根をはじめ、ユリの切り花やアザレア、シャクナゲ、サツキなどの花木類（鉢も

の)の生産が多く、県内の他首都圏、関西圏をはじめとした全国に出荷しています。

特に切り花の中でも最も多く出荷しているユリの切り花は、全国で高く評価されていて、出荷量も全国の2位になっています。

## ●新潟の花



チューリップ (切り花)



ユリ (切り花)



アザレア (鉢もの)  
(写真は県育成品種の「ひろか」)

### 〈新潟のおもな花〉

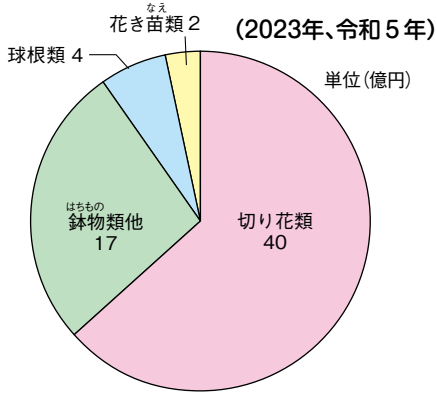
(2024年、令和6年)

区分	出荷量または 産出額(県)	出荷量(全国)	全国に しめる割合	全国順位	その他のおもな品目	代表産地	
切り花	ユリ	949万本	9,800万本	9.7%	2	ヒマワリ・ケイトウ・アイリス・キク カラー・ストック・シャクヤク トルコギキョウ・バラ など	新潟市 魚沼市 胎内市 新発田市 村上市 津南町
	チューリップ	7億円*	—	—	1		
球根類	チューリップ ユリなど	972万球	5,810万球	16.7%	2	スイセンなど	胎内市 五泉市 新潟市
鉢もの類 (花木)	アザレアなど	409万鉢	2,720万鉢	15.5%	2	シャクナゲ・ツツジ・サツキ・ボケ ボタン など	新潟市 五泉市

農林水産省「生産農業所得統計」「作物統計」

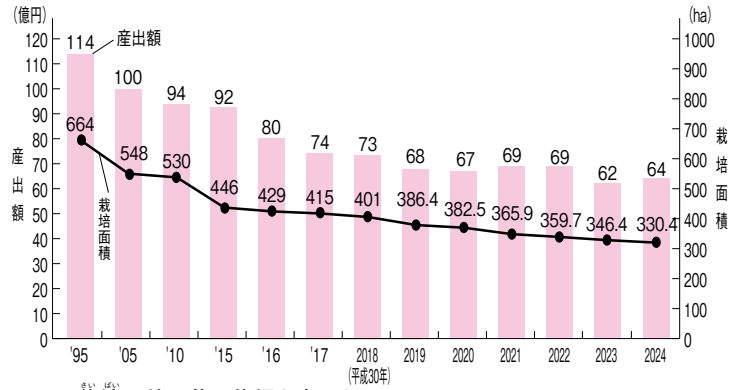
\*チューリップ(切り花)は、2023年(令和5年)のデータ

## ●花類の産出額



農林水産省「生産農業所得統計」

## ●花類の産出額と栽培面積の移り変わり



※栽培面積は花き苗類を含まない

農林水産省「生産農業所得統計」、「作物統計」

## ●花のしごとの例

〈チューリップ切り花のしごと〉

月	8月	9月	10月	11月	12月	1月
ハウス		早く花を咲かせるために球根を冷ぞう庫に入れる		ハウスへ植えつけ	(だんぼう)	収穫 箱づめ 出荷

## スマート技術の活用 「環境モニタリング装置」



▲ハウス内の温度や湿度、光の強さ、CO<sub>2</sub>濃度を測定し、ハウス内環境を数値で「見える化」してくれる

## ●きれいな花を作るしごとの例

〈チューリップ切り花〉



▶ハウスでの収穫



◀箱づめされ、市場でせりにかけられる

〈アザレア (鉢もの) 〉



▲秋から春まで出荷するために、ハウス内で栽培して花を咲かせます。